

令和2年度 第3回県政参画電子アンケート
「介護保険制度と介護保険料負担等に関する意識調査」に関するアンケート結果

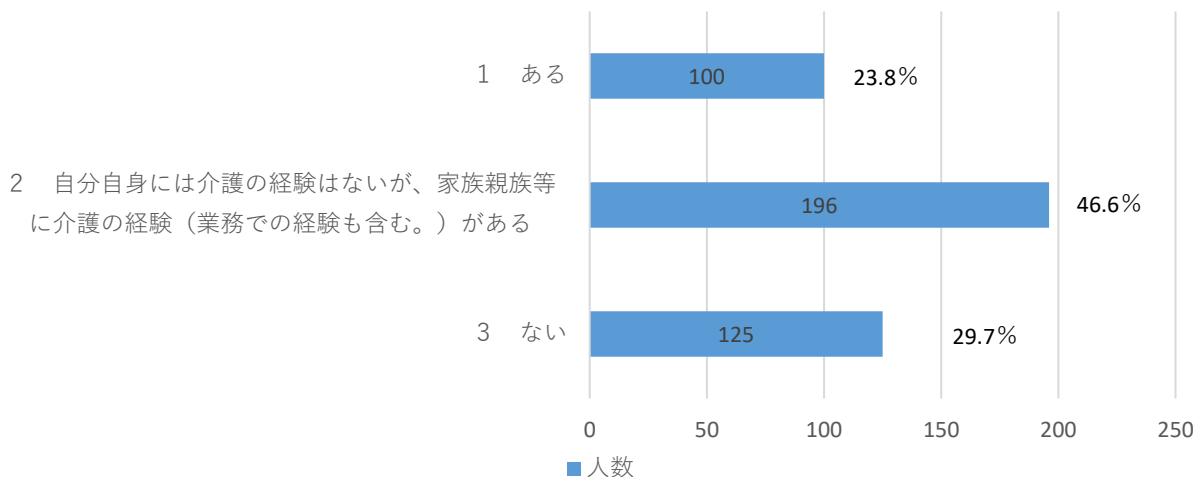
1 調査概要

- テーマ 「介護保険制度と介護保険料負担等に関する意識調査」に関するアンケート
- 実施期間 令和3年7月22日～8月3日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 590名
- 回答数 421名(回答率 71.0%)

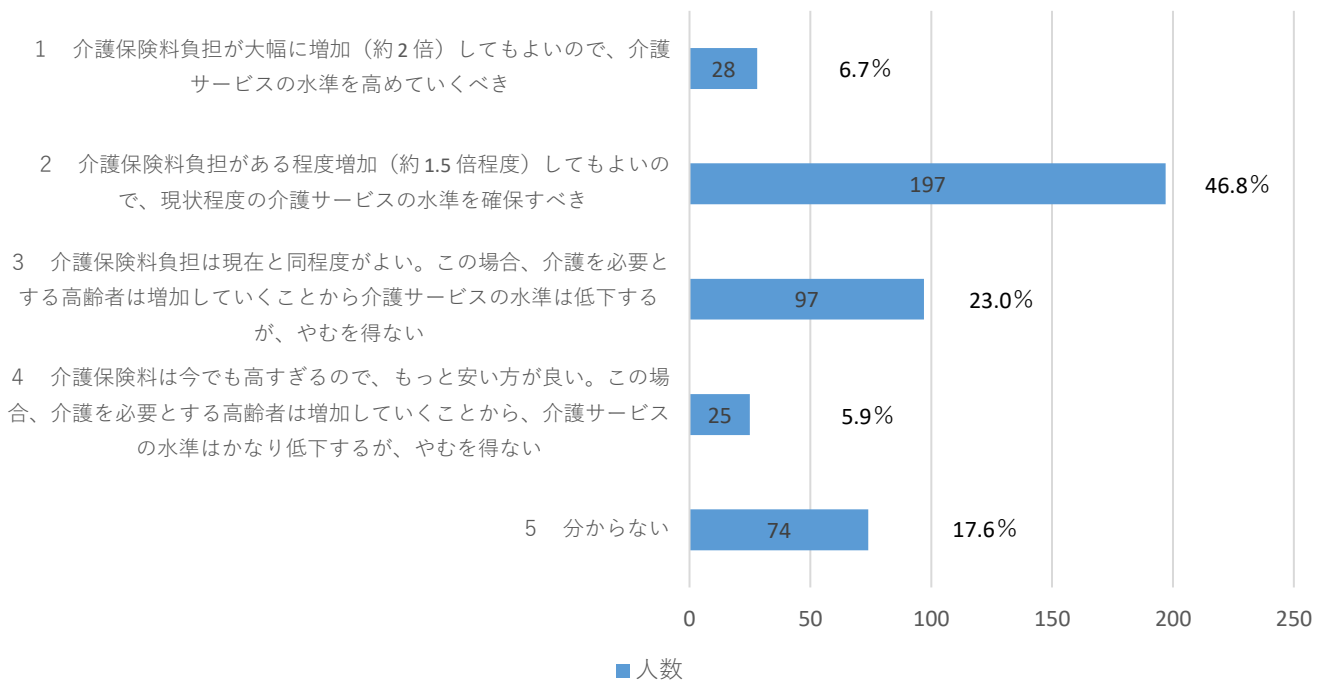
2 目的・概要

介護保険制度は、急激な高齢化の進展を見据え、主に家庭で担っていた介護を社会全体で支えるため、平成12年に創設されました。平成30年度～令和2年度は、介護サービスの提供に要する費用の27%を40～64歳の方が、23%を65歳以上の方が負担しています。(残り50%は国税等の公費負担) 団塊世代の方々が75歳となる2025年、90歳となる2040年に向けて県民の皆さんの介護保険料負担もさらに増加する見通しです。以上の状況を踏まえ、県民のみなさんの意識を把握するためにアンケートを行いました。

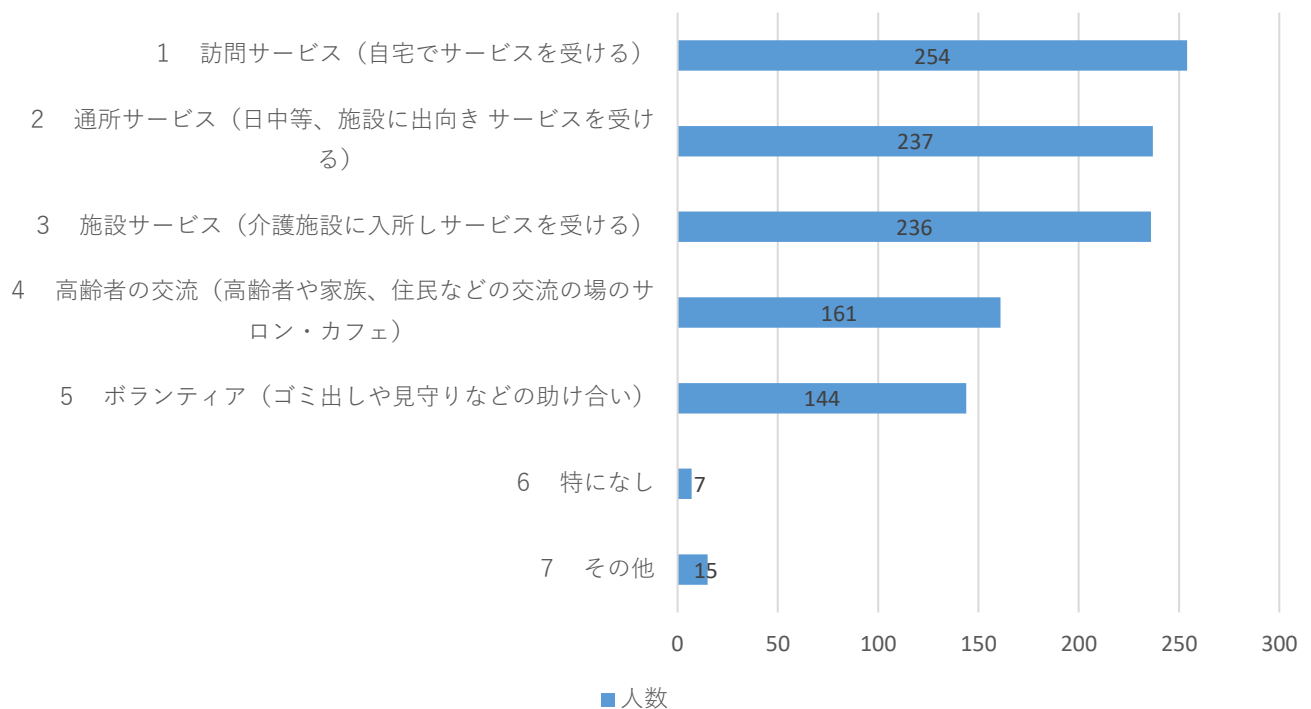
【問1】あなたは、高齢者の介護を経験(業務での経験を含む)したことがありますか。もしくは、家族や親戚の中に、高齢者の介護を経験(業務での経験を含む)した方がいますか。(1つだけ選択)



【問2】介護サービスの水準を確保しようとするすると介護保険料負担が増加することが見込まれます。一方、介護保険料負担を維持しようとするすると介護サービスの水準低下が予想されます。介護サービスの水準(質・量)と介護保険料の負担について、以下の中であなたの考え方に一番近いものはどれですか。(1つだけ選択)

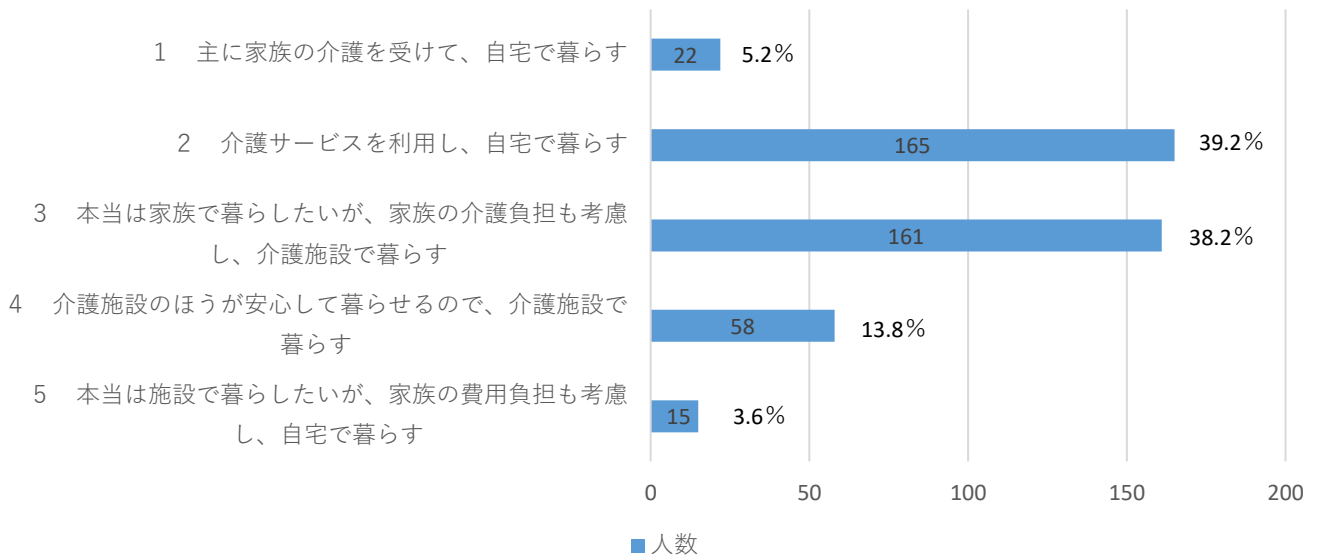


【問3】 今後、高齢者に特に必要となるサービスは何だと思えますか。（複数回答可）

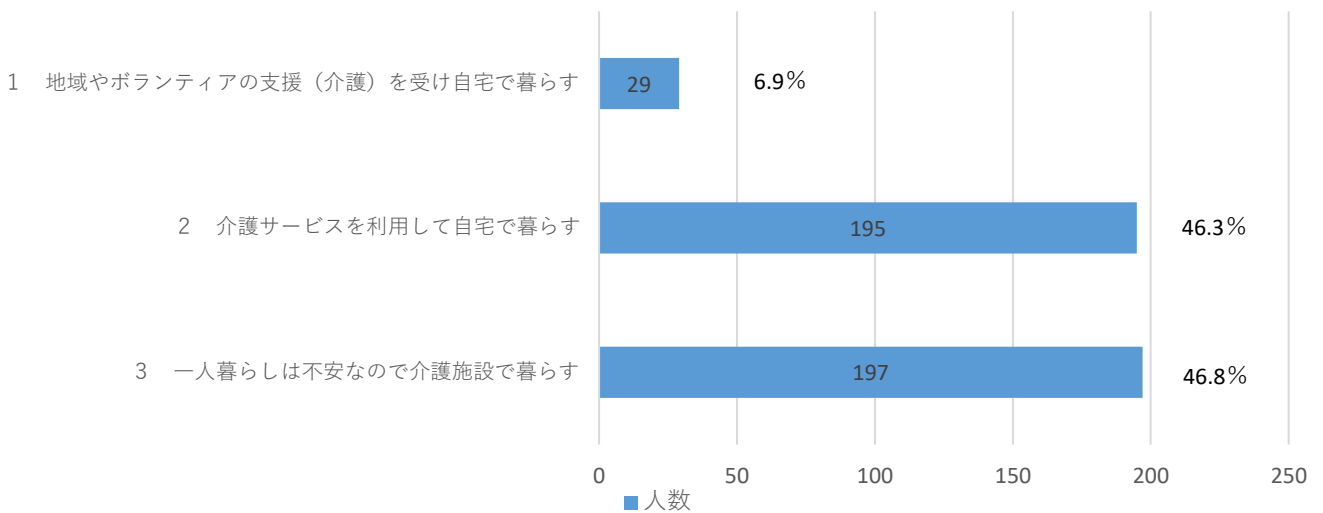


【問4】 あなたが高齢者になり、介護が必要になった時、どのような暮らしを望みますか。以下のそれぞれ想定する場面になった時、あなたの希望する暮らしに一番近いものを教えてください。（1つだけ選択）

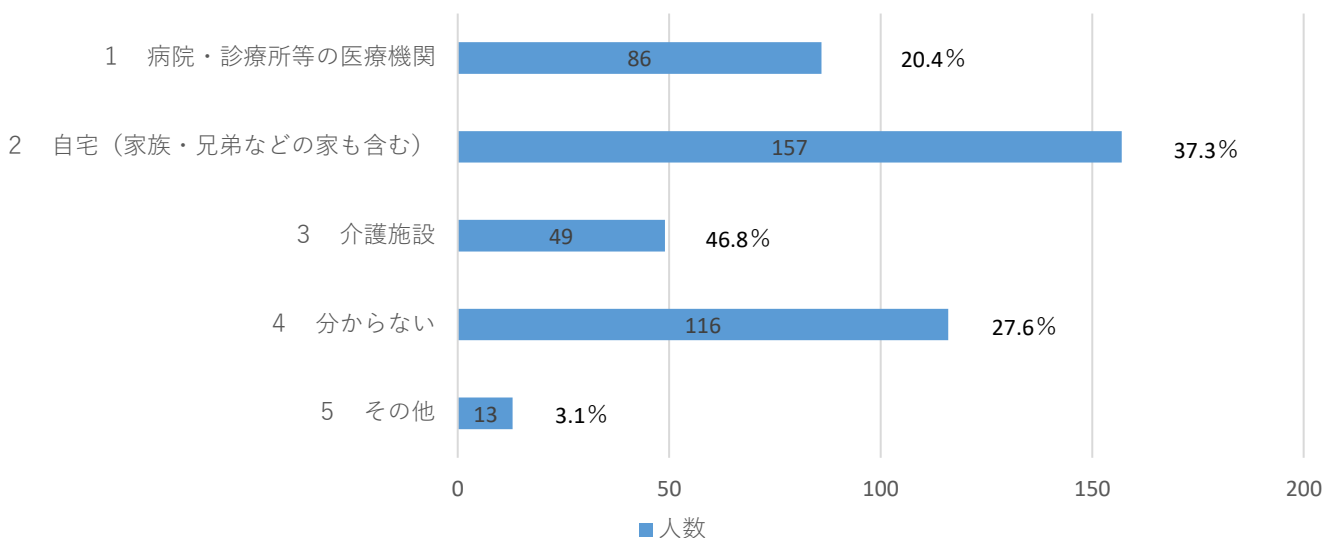
(1) あなたがご家族と同居していて、介護が必要になったと想定した場合、どのような暮らしを望みますか。



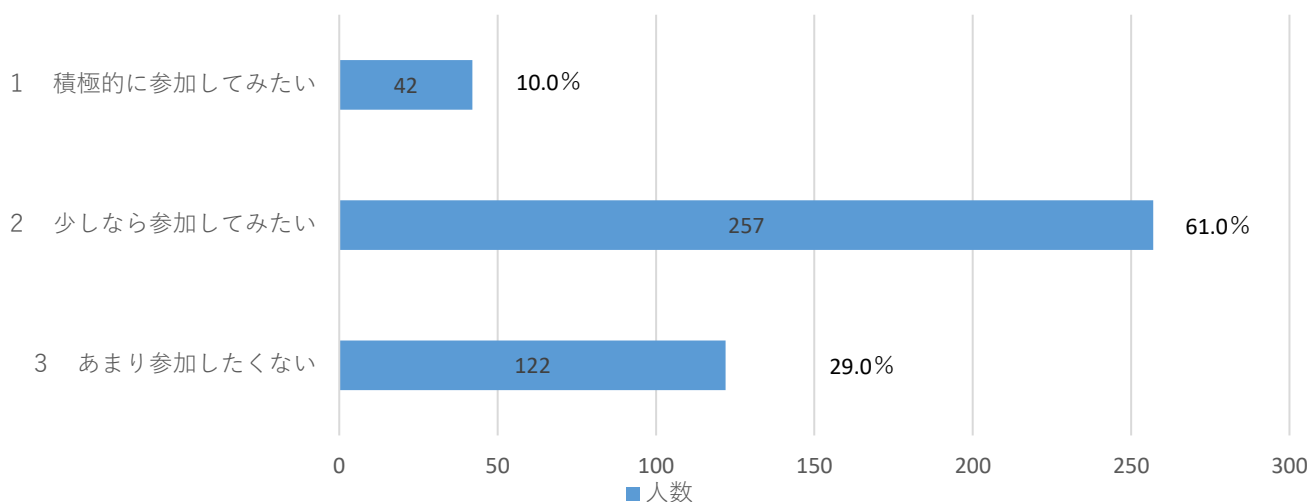
(2)あなたが一人暮らしをしていて、介護が必要になったと想定した場合、どのような暮らしを望みますか。



(3)あなたが高齢者になり、介護が必要になった時と想定した場合、人生最期を迎えたいと考える場所をお答えください。

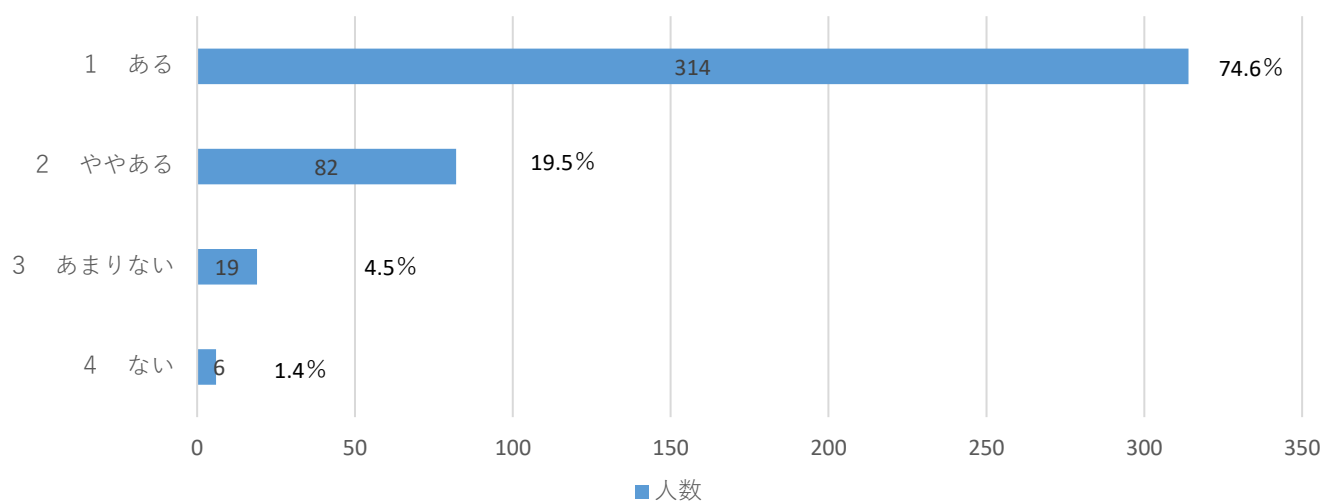


【問5】 介護等ボランティアへの参加について、あなたは、高齢者宅のゴミ出しや見守りなどのボランティアに参加したいと思いますか。(1つだけ選択)

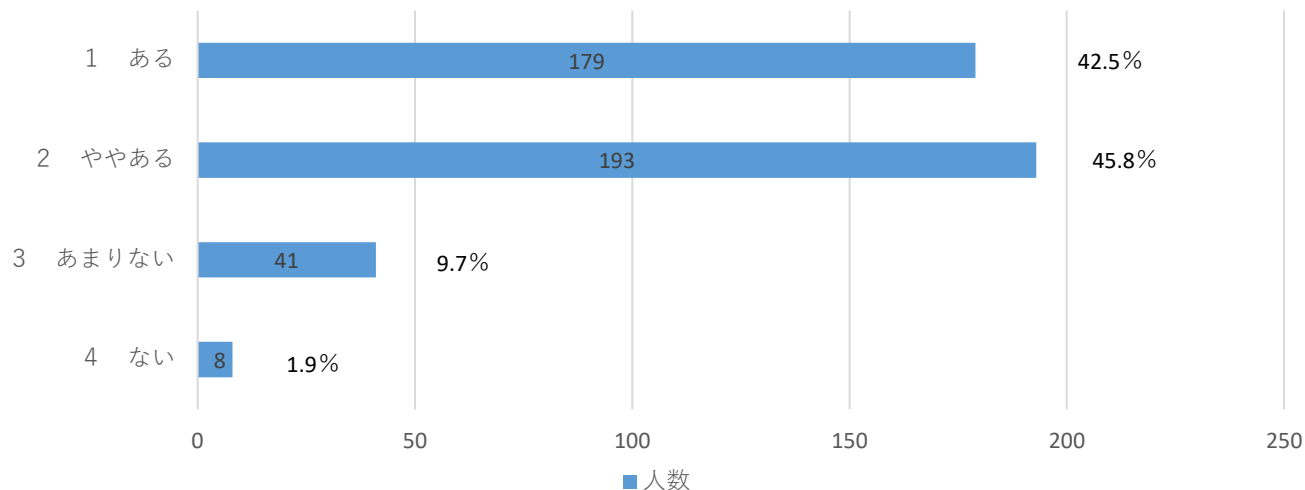


【問6】 介護の仕事について、あなたのイメージをお聞かせください。(それぞれあてはまるものを1つだけ選択)

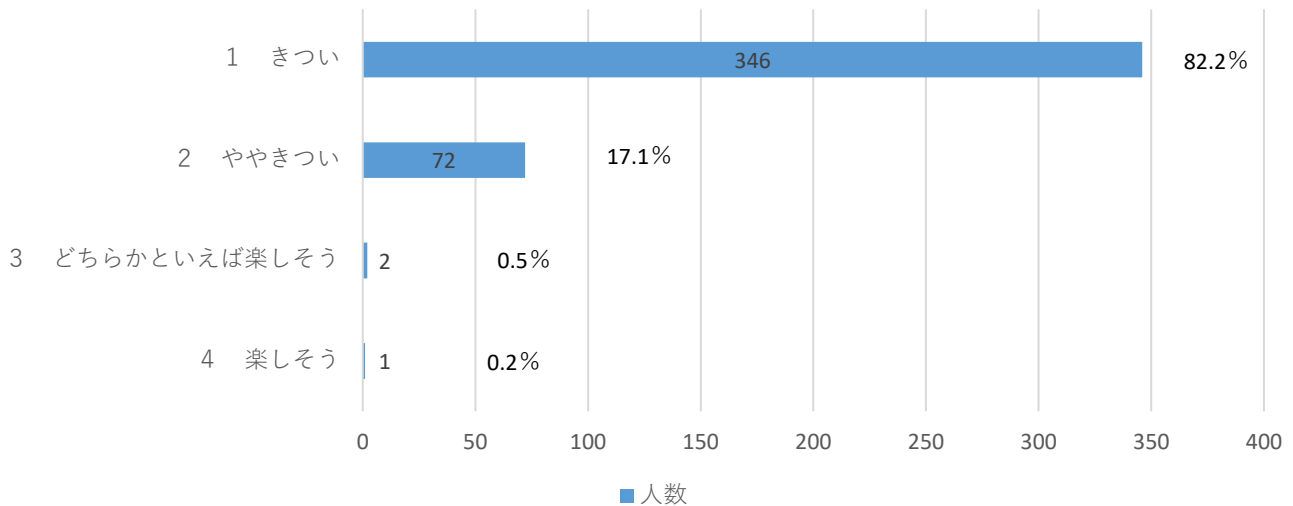
(1) 社会的な意義(人や社会の役に立つ、社会で評価される、など)



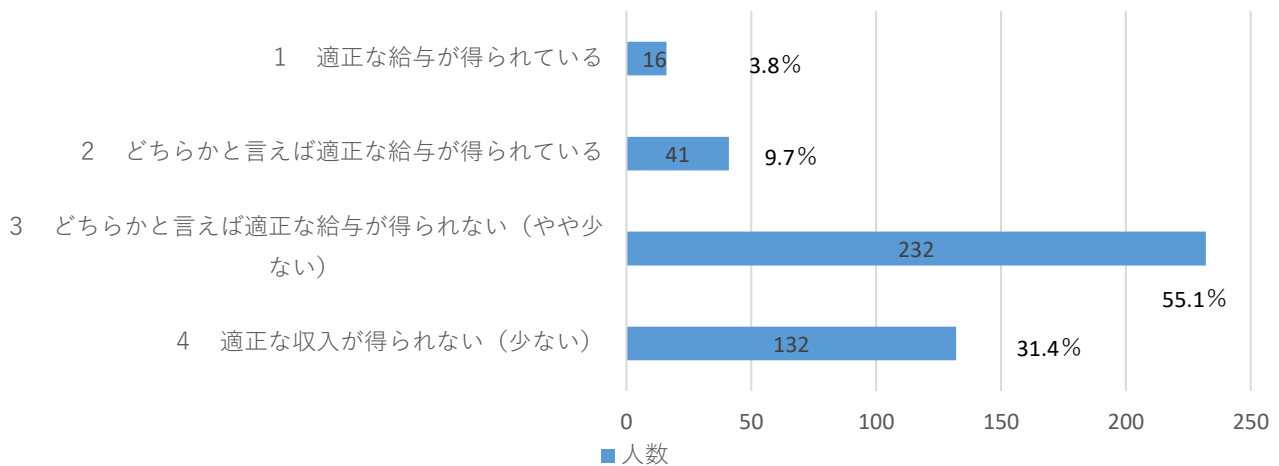
(2) やりがい



(3) 仕事の内容



(4) 給与・収入



【問7】 このほか、介護の仕事について感じる事があれば以下にご記入ください。(2000文字以内)

○必要な仕事と認識してはいるが、実際に自分がその仕事をするとなると若干の抵抗があるように思う。
○実際に介護士として働いているが、身体的な負担に加えて精神的な負担も大きい仕事です。それに見合った報酬があれば報われます。

○仕事の内容と比較し社会的に正しく評価されていない節が散見される。社会的地位(給与面を含め)の向上を図ることが必要。

など